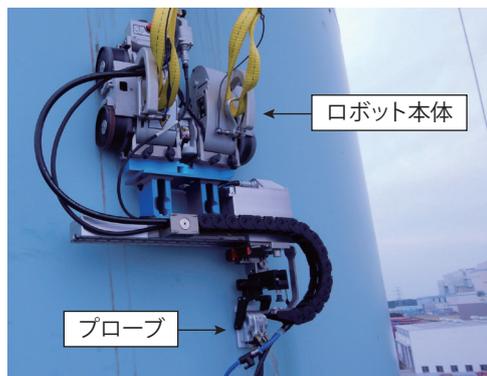


高所対応型超音波検査ロボット

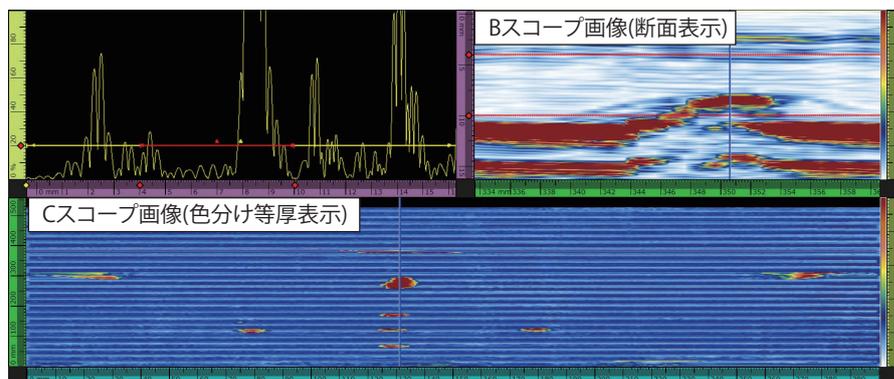
高所対応型超音波検査ロボットは、外径70mm以上の周方向、305mm以上の長手方向の鋼管や鋼板の減肉調査が可能です。

- ◆塗装膜の上から鋼板の厚さを測定できます。(磁性材料のみ対応します)
- ◆オペレーターから30m離れた場所の鋼板厚さ測定・減肉調査が可能です。
- ◆最大600mm幅の肉厚・腐食マップ(Cスコープ)を作れます。
- ◆当社で開発した治具により、直径305mm以上の配管長手方向への減肉調査を可能にしました。

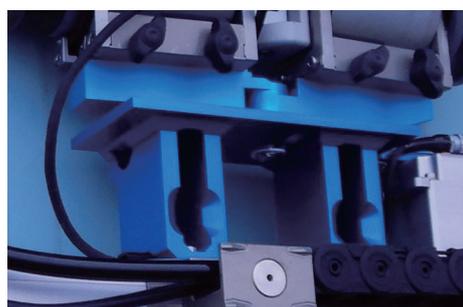
鋼板厚さ測定



測定データ



当社開発治具

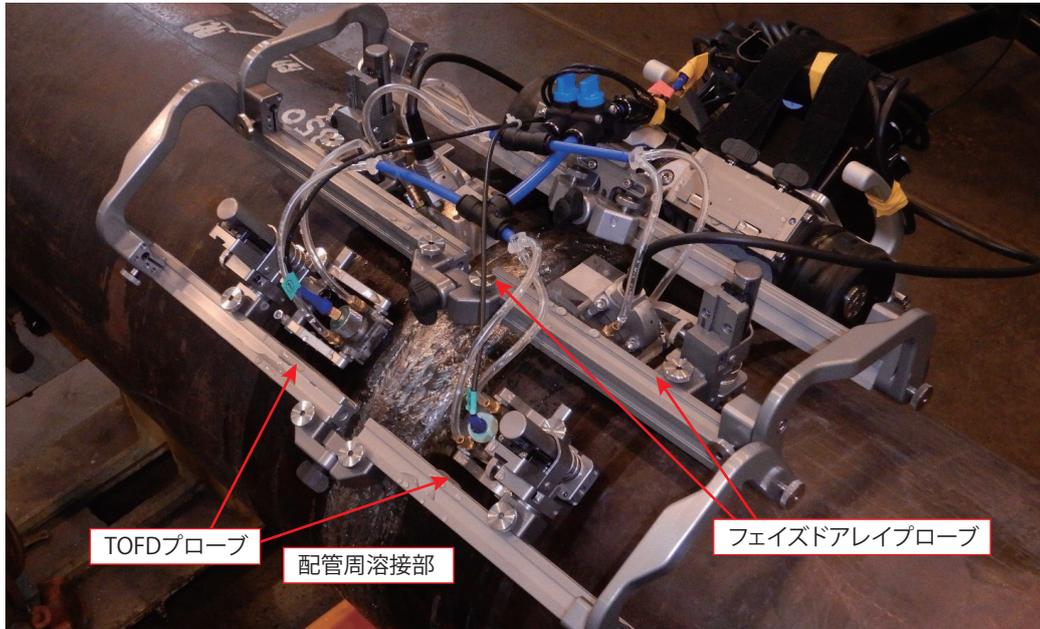


当社独自の治具により、直径305mm以上の配管長手方向への連続的な減肉調査が可能です。

高所対応型超音波検査ロボット

- ◆鋼溶接部をTOFD法およびフェイズドアレイ法により検査できます。(磁性材料のみの対応です)
- ◆オペレーターから30m離れた場所の溶接線検査が可能です。
- ◆一回の走行でTOFD法とフェイズドアレイ法の全データを採取しますので、短時間で現場作業を行えます。

鋼溶接部検査



探傷データ

